

読書のすゝめ

その31

H 31 1 / 11

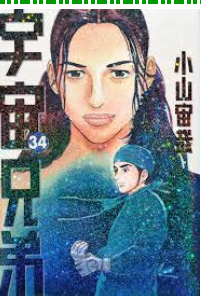
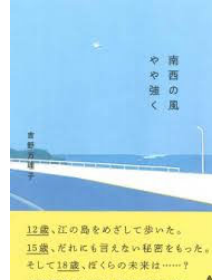
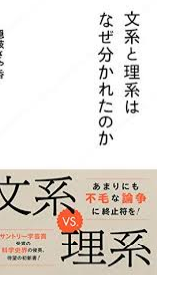
あけましておめでとーうございます!!

2019年は干支（十干十二支）で言えば、36番目の年・己亥（つちのとのい）の年ということになります。十二支ならばイノシシ年。十二支の漢字は“植物の様子”を表していて、最初の『子（ね）』は“種”のなかで新しい命が萌え始めた状態”のことです。それに対して、十二支の最後の『亥』は“草や木の生命力が、種”のなかで閉じ込められた状態”を表しています。種”のなかで宿った新たな命が、春になって芽吹くのを待っている時期でもあります。から、『亥年』の『亥』とは、命を次の世代へと繋いで行く大切な準備期間であり、私たちも、新たな種の成長に備えて自分を磨いたり、目標に向けて準備するための一年にしたいものです。



新着図書

年明け10日に59冊の本を受け入れました。「宇宙兄弟」27〜34、「ちはやふる」40、「3月のライオン」14も届きました。コミックは貸し出しできませんので、図書館内で閲覧ください。



『東京會館とわたし』上・下 辻村深月 毎日新聞出版
 大正11年の創業以来、結婚披露宴や宴会場、また芥川賞・直木賞の記者会見・贈呈式や宝塚のトップスターのイベント会場としても知られ、多くのファンに愛されてきた東京會館。大正から平成にかけて“會館の人々”が織り成すドラマがみごとに描かれています。そして東京會館は4年間の建て替え工事が終わり、今月8日に開業しました。読後には足を運びたいこと間違いなし!

※来週には芥川賞・直木賞の発表があります。また、本屋大賞の候補作品の発表も近いです。